

事業者温室効果ガス削減報告書概要（第二計画期間） 第 2 年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	株式会社宮城衛生環境公社		
事業所の名称	株式会社宮城衛生環境公社		
事業所の所在地	宮城県仙台市青葉区熊ヶ根字野川26番地の6		
主たる事業	廃棄物処理業		
事業者の該当要件		条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	○	条例第15条第1項に該当する一般事業者	

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2022 年度	基準排出量	21.8 t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	0.0117	
	目標年度	2025 年度	目標排出量	21.0 t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	0.01127	
			削減率	3.66 %	削減率	3.67 %	
			非化石電気	%	その他非化石エネルギー等	%	
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2023 年度	排出量	19.3 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.01036	
			削減率	11.46 %	削減率	11.45 %	
			非化石電気	100.00 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %	
	排出量等の増減理由	灯油及びガスの冬季使用期間が短かった為、削減したと思われます。 太陽光発電の効率が良く、約10%多く発電されました。 再エネメニューとして活用している電気は、約5%の削減になりました。 社内で省エネの意識が高まったと考えられます。					
	第2年度	2024 年度	排出量	15.1 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.008105	
			削減率	30.73 %	削減率	30.72 %	
			非化石電気	100.00 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %	
	排出量等の増減理由	冬の使用期間中は灯油の消費を減らし、代わりに電気暖房を活用した為、削減したと思われます。 再エネメニューとして活用している電気は、電気空調を活用した為、約4%の増加になりました。 社内全体で省エネルギーに対する意識が高まっており、エネルギー使用削減に寄与したと考えられます。					
	第3年度	2025 年度	排出量	t-CO <sub>2</sub>	排出原単位		
			削減率	%	削減率	%	
			非化石電気	%	その他非化石エネルギー等	%	
	排出量等の増減理由						

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	100 %	目標年度	100 %	
	第1年度	100 %	実施状況の説明等	基準年ですでに実施していることを継続して推進していく。	
	第2年度	100 %	実施状況の説明等	基準年、第1年度ですでに実施していることを継続して推進していく。	
	第3年度	%	実施状況の説明等		

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	再生可能エネルギーの導入		実施済
	エネルギー使用量の見える化（前年度比較）		実施済
	外気冷房		実施済
	窓の断熱性向上		未実施
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	S B T 認定	実施済
	市が実施する環境関連事業への参画	仙台市温室効果ガス削減アクションプログラム参加	実施済
	市が実施する環境関連事業への参画	エコにこゴールドマイスター認定（仙台市環境配慮事業者認定委員会）	実施済
	市が実施する環境関連事業への参画	青下の杜プロジェクトによる森林保全、社会貢献地域清掃活動	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	エコ・ファースト制度(環境の分野で「先進的、独自のかつ業界をリードするような事業活動」を行っている企業であることを環境大臣認定するもの。)の認定	実施済